

県南 広域振興局長

提出者 シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場
住所 〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25
氏名 工場長 川手 芳成

(法人にあっては、その名称及び代表者の氏名)

地球温暖化対策実施状況届出書

県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例第83条の規定により、地球温暖化対策の実施状況について、次のとおり届け出ます。

1. 事業者に関する事項

主たる工場又は事業場の名称	シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場	* 整理番号	
主たる工場又は事業場の所在地	岩手県北上市北工業団地2-25	* 受理年月日	年 月 日
エネルギー使用量	3,077 kl	* 施設番号	
自動車の使用台数	0 台		
二酸化炭素の排出の状況	別紙のとおり。		
二酸化炭素の排出の抑制のための措置状況			
その他の地球温暖化の対策の実施状況			
変更年月日及び理由	年 月 日		
エネルギーの使用の合理化等に関する法律第19条第1項に定める連鎖化事業者	該当しない		

2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧

工場等の名称	工場等の所在地	エネルギーの使用量
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上工場	〒024-0002 岩手県北上市北工業団地2-25	2,485 kℓ
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東北北上南工場	〒024-0051 岩手県北上市相去町平林14-14	454 kℓ
シチズン時計マニュファクチャリング株式会社 東西北和賀工場	〒029-5616 岩手県和賀郡西和賀町沢内字泉沢29-2-31	139 kℓ

備考1 *印の欄には、記載しないこと。

- 2 エネルギー使用量の欄は県民の健康で快適な生活を確保するための環境の保全に関する条例施行規則第39条第1項に規定する工場又は事業場に該当する場合に、自動車の使用台数の欄は同条第2項に該当する場合に記載すること。
- 3 エネルギー使用量については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則（昭和54年通商産業省令第74号）第4条の方法により原油の数量へ換算した量を記載すること。
- 4 変更計画書の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 5 2. 県内に設置している工場又は事業所並びに店舗の一覧の記載欄が足りない場合には、別に（別途）**岩手県 県南広域振興局** 覧を成の上、添付してください。（A4）



別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

県内全工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況			
	項 目	使用量 (A)	原油 換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度 の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の 排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D× 100)
燃料 及 び 熱	原油（コンデンセートを除く）		kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）		kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ		
	揮発油		kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ		
	ナフサ		kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ		
	灯油		518 kℓ	490	2.49 t-CO ₂ /kℓ	1289.6	1302.9 ▲ 1
	軽油		0 kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ		7.7
	A重油		kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ		
	B・C重油		kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ		
	石油アスファルト		t		3.12 t-CO ₂ /t		
	石油コークス		t		2.78 t-CO ₂ /t		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）	14.895 t	20	3.00 t-CO ₂ /t	44.7	48.6 ▲ 8
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³		
	可燃性天然 ガス	液化天然ガス（LNG）	t		2.70 t-CO ₂ /t		
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³		
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t		
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t		
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t		
	石炭コークス		t		3.17 t-CO ₂ /t		
	コールタール		t		2.86 t-CO ₂ /t		
	コークス炉ガス		千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³		
	高炉ガス		千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³		
	転炉ガス		千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³		
	その他の燃 料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³		
		（ ）	（ ）		t-CO ₂ /（ ）		
		（ ）	（ ）		t-CO ₂ /（ ）		
	産業用蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ		
	産業用以外の蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ		
温水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ			
冷水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ			
小計			510		1334.3	1359.2 ▲ 2	
電 気	電気事業者	昼間買電	6480.37 千kWh	1667	0.471 t-CO ₂ /T kWh	3052.3	1248.7 144
		夏期・冬期における 電気需要平準時間帯	3828.59 千kWh	985			
		夜間買電	3758.51 千kWh	900	0.471 t-CO ₂ /T kWh	1770.3	752.6 135
	その他	上記以外の買電（東北 電力ネットワーク）	千kWh		0.550 t-CO ₂ /T kWh		2874.3
		自家発電	千kWh				
	小計		10238.9 千kWh	2567		4822.6	4875.6 ▲ 1
合計			3077		6156.9	6234.8 ▲ 1	
※ 燃料を用いて自家発電した電気の うち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh			
合計							

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

東北北上工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項 目	使用量 (A)	原油 換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度 の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の 排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D× 100)	
燃料 及 び 熱	原油（コンデンセートを除く）		kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ			
	原油のうちコンデンセート（NGL）		kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ			
	揮発油		kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ			
	ナフサ		kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ			
	灯油		518 kℓ	490	2.49 t-CO ₂ /kℓ	1289.6	1302.9 ▲ 1	
	軽油		kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ			
	A重油		kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ			
	B・C重油		kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ			
	石油アスファルト		t		3.12 t-CO ₂ /t			
	石油コークス		t		2.78 t-CO ₂ /t			
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）	14.895 t	20	3.00 t-CO ₂ /t	44.7	48.6 ▲ 8	
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
	可燃性天然 ガス	液化天然ガス（LNG）	t		2.70 t-CO ₂ /t			
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
	石炭コークス		t		3.17 t-CO ₂ /t			
	コールタール		t		2.86 t-CO ₂ /t			
	コークス炉ガス		千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³			
	高炉ガス		千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³			
	転炉ガス		千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³			
	その他の燃 料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³			
		（ ）	（ ）		t-CO ₂ /（ ）			
		（ ）	（ ）		t-CO ₂ /（ ）			
	産業用蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ			
産業用以外の蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
温水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
冷水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
小計			510		1334.3	1351.5 ▲ 1		
電 気	電気事業者	昼間買電	5032.95 千kWh	1295	0.471 t-CO ₂ /千kWh	2370.5	921.8 157	
		夏期・冬期における 電気需要平準時間帯	2998.61 千kWh	771				
		夜間買電	2839.78 千kWh	680	0.471 t-CO ₂ /千kWh	1337.5	541.2 147	
	その他	上記以外の買電（東北 電力ネットワーク）	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh		2055.7	
		自家発電	千kWh					
	小計		7872.72 千kWh	1975		3708.0	3518.7 5	
合計			2485		5042.3	4870.2 4		
※ 燃料を用いて自家発電した電気の うち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

東北北上南工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況			
	項 目	使用量 (A)	原油 換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度 の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の 排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D× 100)
燃料 及 び 熱	原油（コンデンセートを除く）		kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ		
	原油のうちコンデンセート（NGL）		kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ		
	揮発油		kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ		
	ナフサ		kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ		
	灯油		kℓ		2.49 t-CO ₂ /kℓ		
	軽油		0 kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ		0
	A重油		kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ		
	B・C重油		kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ		
	石油アスファルト		t		3.12 t-CO ₂ /t		
	石油コークス		t		2.78 t-CO ₂ /t		
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）	t		3.00 t-CO ₂ /t		
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³		
	可燃性天然 ガス	液化天然ガス（LNG）	t		2.70 t-CO ₂ /t		
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³		
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t		
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t		
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t		
	石炭コークス		t		3.17 t-CO ₂ /t		
	コールタール		t		2.86 t-CO ₂ /t		
	コークス炉ガス		千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³		
	高炉ガス		千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³		
	転炉ガス		千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³		
	その他の燃 料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³		
		（ ）	（ ）		t-CO ₂ /（ ）		
		（ ）	（ ）		t-CO ₂ /（ ）		
	産業用蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ		
	産業用以外の蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ		
	温水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ		
	冷水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ		
	小計						
電 気	電気事業者	昼間買電	1056.1 千kWh	272	0.471 t-CO ₂ /千kWh	497.4	255
		夏期・冬期における 電気需要平準時間帯	586.086 千kWh	151			
		夜間買電	759.078 千kWh	182	0.471 t-CO ₂ /千kWh	357.5	178.3
	その他	上記以外の買電（東北 電力ネットワーク）	千kWh		0.550 t-CO ₂ /千kWh		667.6
		自家発電	千kWh				
	小計		1815.18 千kWh	454		854.9	1100.9
合計			454		854.9	1100.9	
※ 燃料を用いて自家発電した電気の うち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /千kWh			
合計							

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則(昭和54年通商産業省令第74号)

第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令(平成11年政令第143号)の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量(A)の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

別紙 その1 (工場又は事業場用)

1 二酸化炭素の排出の状況

東北西和賀工場

当該年度のエネルギー使用量				二酸化炭素の排出の状況				
	項 目	使用量 (A)	原油 換算量 (kℓ)	排出係数(B)	当該年度 の排出量 (C=A×B) (t-CO ₂)	前年度の 排出量 (D) (t-CO ₂)	対前年度比 (%) (D・C)/D× 100)	
燃料 及 び 熱	原油（コンデンセートを除く）	kℓ		2.62 t-CO ₂ /kℓ				
	原油のうちコンデンセート（NGL）	kℓ		2.38 t-CO ₂ /kℓ				
	揮発油	kℓ		2.32 t-CO ₂ /kℓ				
	ナフサ	kℓ		2.24 t-CO ₂ /kℓ				
	灯油	kℓ		2.49 t-CO ₂ /kℓ				
	軽油	0 kℓ		2.58 t-CO ₂ /kℓ		8.8		
	A 重油	kℓ		2.71 t-CO ₂ /kℓ				
	B・C 重油	kℓ		3.00 t-CO ₂ /kℓ				
	石油アスファルト	t		3.12 t-CO ₂ /t				
	石油コークス	t		2.78 t-CO ₂ /t				
	石油ガス	液化石油ガス（LPG）	t		3.00 t-CO ₂ /t			
		石油系炭化水素ガス	千m ³		2.34 t-CO ₂ /千m ³			
	可燃性天然 ガス	液化天然ガス（LNG）	t		2.70 t-CO ₂ /t			
		その他可燃性天然ガス	千m ³		2.22 t-CO ₂ /千m ³			
	石炭	原料炭	t		2.61 t-CO ₂ /t			
		一般炭	t		2.33 t-CO ₂ /t			
		無煙炭	t		2.52 t-CO ₂ /t			
	石炭コークス	t		3.17 t-CO ₂ /t				
	コールタール	t		2.86 t-CO ₂ /t				
	コークス炉ガス	千m ³		0.85 t-CO ₂ /千m ³				
	高炉ガス	千m ³		0.33 t-CO ₂ /千m ³				
	転炉ガス	千m ³		1.18 t-CO ₂ /千m ³				
	その他の燃 料	都市ガス	千m ³		2.23 t-CO ₂ /千m ³			
		()	()		t-CO ₂ /()			
		()	()		t-CO ₂ /()			
	産業用蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ			
産業用以外の蒸気		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
温水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
冷水		GJ		0.06 t-CO ₂ /GJ				
小計						8.8		
電 気	電気事業者	昼間買電	391.323 千kWh	101	0.471 t-CO ₂ /T・kWh	184.3	71.9	156
		夏期・冬期における 電気需要平準時間帯	243.893 千kWh	63				
		夜間買電	159.654 千kWh	38	0.471 t-CO ₂ /T・kWh	75.2	33.2	127
	その他	上記以外の買電（東北 電力ネットワーク）	千kWh		0.550 t-CO ₂ /T・kWh		150.9	
		自家発電	千kWh					
	小計		550.977 千kWh	139		259.5	256	1
合計			139		259.5	264.8	▲ 2	
※ 燃料を用いて自家発電した電気の うち、他社に販売した量		千kWh		t-CO ₂ /T・kWh				
合計								

備考1 原油換算量は、エネルギーの使用の合理化等に関する法律施行規則 (昭和54年通商産業省令第74号) 第4条の方法により換算してください。

2 二酸化炭素排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律施行令 (平成11年政令第143号) の第3条の規定により算定してください。

3 エネルギー使用量の使用量 (A) の欄には、県内に設置している工場又は事業所並びに店舗におけるエネルギー使用量の合計を記載してください。

4 「夏期・冬期における電気需要平準時間帯」については、昼間買電の内数であるため「()」としている。「電気」の「小計」で重複計上しないでください。

5 「燃料を用いて自家発電した電気」を他者に販売した場合、その量と排出係数を適切な方法で算出し、※の行に正の値で入力してください。

2 地球温暖化対策計画の達成状況

【目標値の達成状況(進捗状況)】

二酸化炭素排出量2019年度比10%削減を目標に掲げ取り組みを行ったところ、計画年度の3年間で21%の削減を行うことができたため、目標を達成することができた。

【具体的な取組状況】

毎月、環境委員会を開催し、部署ごとの省エネ取り組みを計画・実施。

エアール漏れ測定、および漏れ箇所の是正を実施。

春、秋期間の冷暖房停止活動。

休日、不要時の空気圧縮機、ボイラーの停止。

蛍光灯のLED化。

看板灯の消灯。

エアコンフィルター清掃。

コンプレッサーの更新。

蒸気ボイラーの更新。

高効率エアコンへの更新。

備考 計画書に記載した各種取組の進捗・達成状況について記載してください

3 その他の地球温暖化の対策の実施状況

クールビズ、ウォームビズの実施。